

# ■ 1. 易とカウンセリング

# 行動変容

# カウンセリング

カウンセリング理論：

- ・精神分析理論
- ・自己理論
- ・行動療法理論
- ・特性・因子理論
- ・実存主義的理論
- ・ゲシュタルト療法
- ・交流分析
- ・論理療法
- ・折衷理論
- ・その他

随処に主



国分康孝『カウンセリングの理論』  
誠信書房

問題

親子関係、職場の人間関係、人事、嫁・姑の関係、夫婦、異性、育児、性、人生観、職業選択、職務、宗教、非行、性格、学業、老後、死等

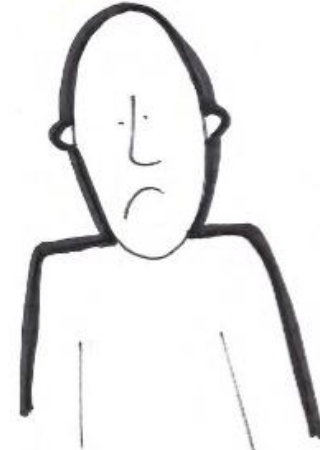
# 易占 行動変容

# カウンセリング

カウンセリング理論：

- ・精神分析理論
- ・自己理論
- ・行動療法理論
- ・特性・因子理論
- ・実存主義的理論
- ・ゲシュタルト療法
- ・交流分析
- ・論理療法
- ・折衷理論
- ・その他

易占の真に眼目とするところは、人事百般の難事に当面せる人々をして、其の難みの生じた理由を知らしめ、将に來らんとする変化をも予め明らかにして、進退出処の時宜を得せしめ、以って人間生活の向上と平安とに寄与せんとする方術である。



問題

加藤大岳『易学通変』紀元書房

親子関係、職場の人間関係、人事、嫁・姑の関係、夫婦、異性、育児、性、人生観、職業選択、職務、宗教、非行、性格、学業、老後、死等

# 易 占 行動変容

# カウンセリング

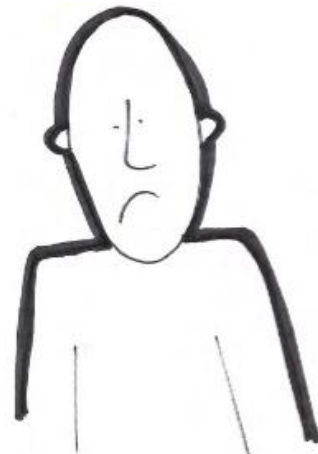
カウンセリング理論：

- ・ 精神分析理論
- ・ **自己理論**
- ・ 行動療法理論
- ・ 特性・因子理論
- ・ 実存主義的理論
- ・ ゲシュタルト療法
- ・ 交流分析
- ・ 論理療法
- ・ **折衷理論**
- ・ その他

## 占い：

結果を先に示すことによって  
行動の指針を与えるもの。

呪術：共感呪術的方法、予知技術



## 易経：

陰と陽との対立・転化

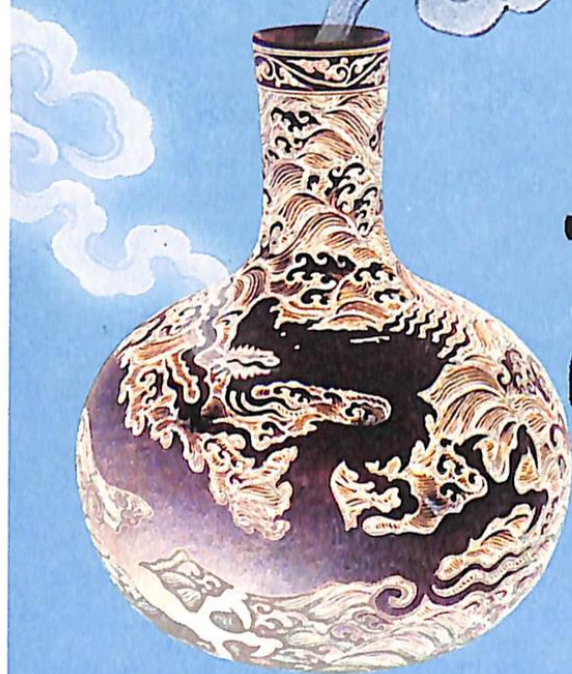
問題

親子関係、職場の人間関係、人事、嫁・姑の関係、夫婦、異性、育児、性、人生観、職業選択、職務、宗教、非行、性格、学業、老後、死等

# 易経

ekikyo

角川ソフィア文庫



## 語釈

○恒 恒常、恒久。彖伝に「四時変化して能く久しく成る」、変化があるから恒常性があるという。そもそも『易経』は変化の書であった。○浚恒 一説に、相手に恒を求めるとが深（浚）すぎるから凶。○悔亡 このように占断だけしかなのは、ほかに34大壮九二、40解初六。○不恒其德……『論語』子路篇に同じ文句がみえる。それを受けて孔子はいう、「恒なき人は易でも占いようがない」。○田无禽 7師六五には「田有禽」とあった。○恒其德…… 旧解は「其の徳を恒にして、貞し。婦人は吉、夫子は凶」と読む。○楷恒「楷」（土台、支える）原テキストは「振」。

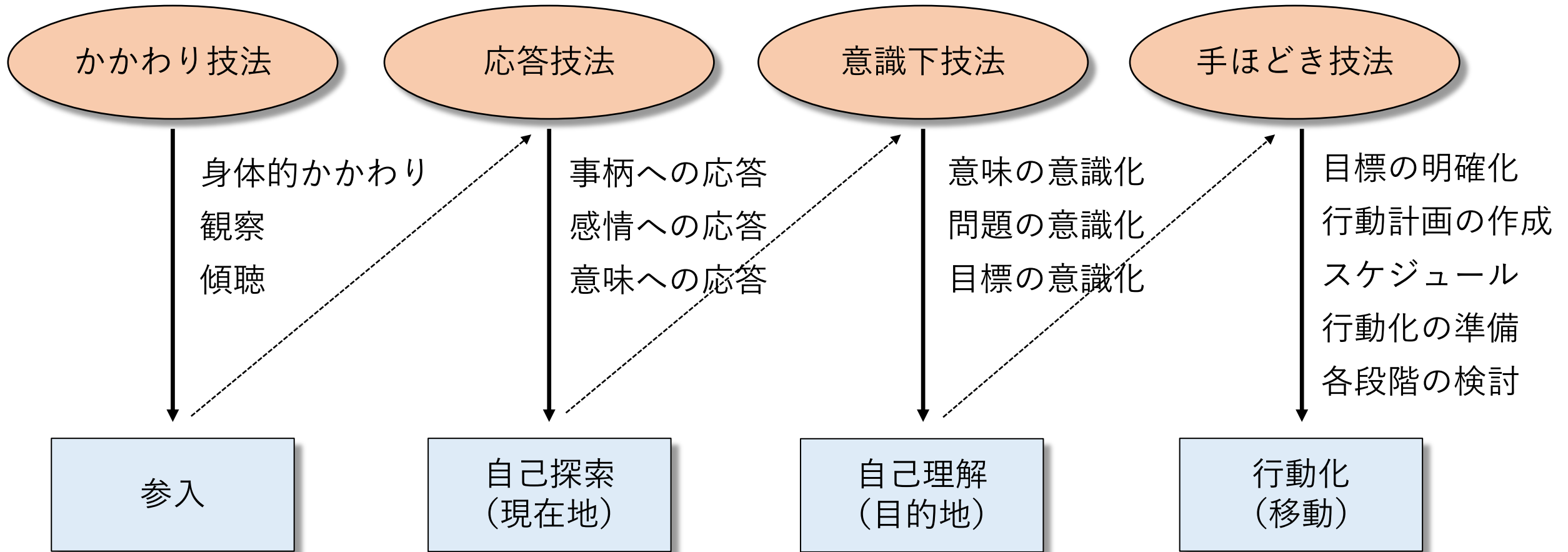
## 占例

わが国には古くから重厚な易占の伝統があるが、昭和に限っていえば加藤大岳（一九〇七〜一九八三）が傑出している。氏の『易学大講座』（紀元書房）は六四卦・三八四爻の注解と占法とをきめ細かく記した、学・占の一致した名著であるが、恒卦の占断は以下のごとし。「運氣などにしても、だいたいにおいて旧を守るによく、新規は不可の時で、在来のことにコツコツと根気よく努力して、ほかに心を動かさぬ方がよいといえるし、特に恒の卦を示すときは、恒を守りたい場合が多いものであるから、僥倖（まぐれの幸運）など望んで失敗することのないよう戒むべきであります」。

## ■ 2. カウンセリングのどこに 易占を取り入れるか

# ■ カウンセリングのプロセス(ヘルピング)

ヘルパー (援助者)



ヘルピー (援助を受ける人)

統合  
面接の構造化

(4) 対決

(3) 積極技法

(2) 焦点のあてかた

(1) 基本的かかわり技法  
基本的傾聴技法  
かかわり行動

# ■ マイクロ技法の階層表

## マイクロカウンセリング

1960年代に米国のアイビー（Allen, E. Ivey）博士らによって提唱された。カウンセリングのメタモデルと言われ、この技法をマスターしておくことは、専門的援助の仕事にたずさわる人々にとってはいうまでもなく、日常的な人間関係においても有用であると言われる。



# ■ マイクロ技法の階層表

統合  
面接の構造化

(4) 対決

(3) 積極技法

(2) 焦点のあてかた

(1) 基本的かかわり技法  
基本的傾聴技法  
かかわり行動

## 積極技法

指示、論理的帰結、**解釈**

自己開示、**助言**、情報提供

説明、教示、フィードバック

# ■ マイクロ技法の階層表

統合  
面接の構造化

(4) 対決

(3) 積極技法

(2) 焦点のあてかた

(1) 基本的かかわり技法  
基本的傾聴技法  
かかわり行動

基本的かかわり技法

意味の反映、感情の反映

はげまし、いいかえ、要約

開かれた質問、閉ざされた質問

クライアント観察技法

かかわり行動

# ■ 解釈

アレン・アイビー『マイクロカウンセリング』川島書店、2005  
玉瀬耕治『カウンセリングの技法を学ぶ』有斐閣、2008

カウンセラーが自分の理論的枠組みに沿ってクライエントの問題を捉え、それを伝えることを解釈という。

意味の反映は、クライエントの認識の枠組みの中で問題を意味付けること。

カウンセラーが技法として解釈を用いることはまれである。とりわけ初期の段階ではこの技法が用いられることはあまりない。

# ■ 解釈

アレン・アイビー『マイクロカウンセリング』川島書店、2005  
玉瀬耕治『カウンセリングの技法を学ぶ』有斐閣、2008

自分の生き方や考え方を自発的に変えることはなかなか難しいものである。カウンセラーから今までにない新鮮な視点を示されることによって、新しい洞察が得られ、これまでの見方を変えるきっかけがつかめることは大いにありうると言えよう。

# ■ 易占をどこに取り入れるか

易

解釈  
助言

ヘルパー（援助者）

かかわり技法

応答技法

意識下技法

手ほどき技法

易?

身体的かかわり  
観察  
傾聴

事柄への応答  
感情への応答  
意味への応答

意味の意識化  
問題の意識化  
目標の意識化

目標の明確化  
行動計画の作成  
スケジュール  
行動化の準備  
各段階の検討

参入

自己探索  
(現在地)

自己理解  
(目的地)

行動化  
(移動)

ヘルピー（援助を受ける人）

## ■ 3. 易占のプロセス

# ■ 易についてのユングの発言

易経は、自らを誇ることもしないが、決して近づき易いものではない。それは自然の一部であるかのように、自分が発見されるまで静かに待っている。

それは自己を知ることを愛し、知恵を知ること  
を愛する人々にとっては、誠に相応しい書物で  
ある。易は、自ら問いを発する人に対してのみ、  
己自身を開示する

# ■ 易についてのユングの発言

精神的に未熟で遊び半分の人には易はむかない。  
主知主義的で合理主義的な性格の人にも適さない。  
それとは全く逆に、自分の行為や自分に起  
こる事柄を熟慮することを好み、瞑想的で自省  
的な人々のためにこそ易は役立つ。

易は自己自身を知ることを求め、思索と行為の  
ための英知を愛する人々にとってのみ真実の書  
となりうるのだ



# ■ 易占のプロセス

占筮者

得卦が欠けるものは易占ではなく、他の占法となる。

占考の段階がないのは、おみくじ易である。

かかわり技法

B. 得卦

C. 占考

手ほどき技法

- ①分限
- ②地位
- ③時
- ④居所
- ⑤事情
- ⑥勢い

筮前の審事  
：アセスメント

占的

問題の側面

A. 問筮  
(問題)

自己探索  
(現在地)

自己理解  
(目的地)

D. 行動化  
(移動)

判断  
予測  
対処策

問筮者

問筮がなければ  
占が始まらない。

対処策の探求が  
立筮の真の目的である。

## ■ 4. カウンセリング事例で見る 易占のプロセス

# ■ 易占のプロセス 事例

『独習入門カウンセリングワークブック』  
福山清蔵 P.13

男性、21歳

私はこの会社に入って3年半たったところでは、最初からそれほど期待して入社したというわけじゃないんですが、給料はあまり上がらないし、上司はどう見ても無能なくせに威張ってばかりいるし、なんだか面白くなくて、将来のことも考えると憂鬱になるし、毎日こんなバカみたいな仕事してていいのか、それともこの際脱サラでもしようかと考えたりしているのです。

# ■ 易占のプロセス 事例

『独習入門カウンセリングワークブック』  
福山清蔵 P.13

脱サラするんなら若いうちだし、それには資金も勇気もいるし……どうしたものかと思ひまして……実は、友人に誘われているのです。一緒にやらないかって……。

## A. 占的

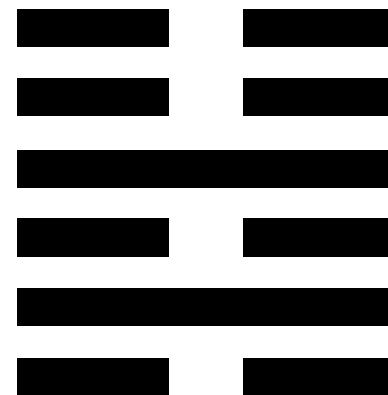
友人と一緒に事業を立ち上げてよいか？

# ■ 易占のプロセス 事例

『独習入門カウンセリングワークブック』  
福山清蔵 P.13

## B. 得卦

雷水解 九四



## C. 占考

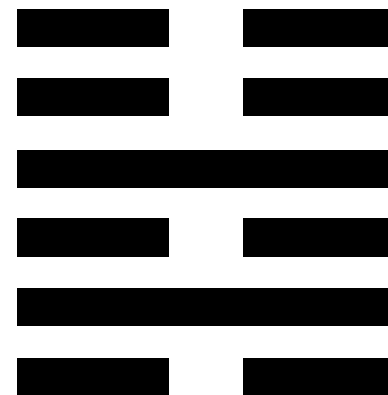
内卦の坎雨と外卦の震雷と相共に作って、  
堅氷ようやく解け、百花草木の発生する象。  
震の春陽の気が坎の冬陰の氷の上であり、  
春の陽気が動いて坎冬の氷結を解き散らす象。

# ■ 易占のプロセス 事例

『独習入門カウンセリングワークブック』  
福山清蔵 P.13

## B. 得卦

雷水解 九四



## C. 占考

内坎險・外震動で、動いて險の外に出るので艱難が解ける。

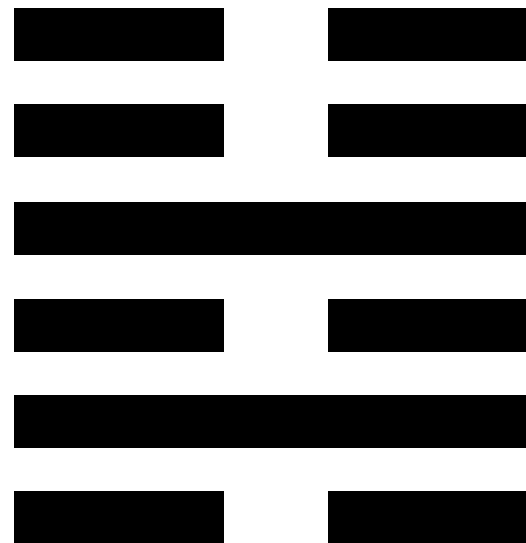
特に当面した事態もない場合は、  
身の上、家業、すべて解散するという占告となる。

# ■ 易占のプロセス 事例

『独習入門カウンセリングワークブック』  
福山清蔵 P.13

## B. 得卦

### 雷水解



### 爻辞

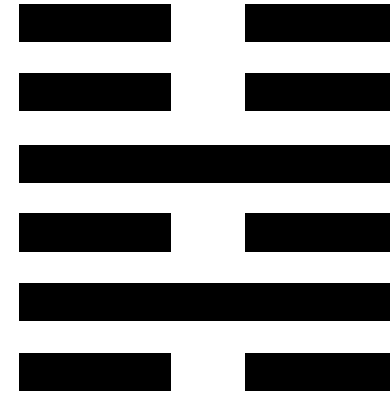
九四：なんじの拇を解く。朋至りてこれを孚とす。

# ■ 易占のプロセス 事例

『独習入門カウンセリングワークブック』  
福山清蔵 P.13

## B. 得卦

雷水解 九四



## D. 対処策

事業はいずれ解消となる。

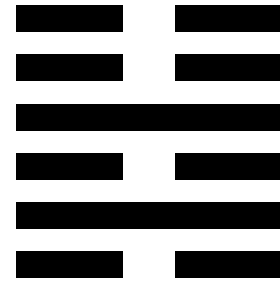
社内の先輩に誠実に相談するのがよい。



# ■ 易占のプロセスでどこが難しいのか

**A. 占的** 友人と一緒に事業を立ち上げてよいか？

**B. 得卦** 雷水解 九四



**C. 占考** 内卦の坎雨と外卦の震雷と相共に……

**D. 対処策** 事業はいずれ解消となる……

# ■ 易の真髓

加地伸行『易の世界』中公文庫

易占を行いたいとする読者に是非とも承知してほしいのは、易の真髓は偶然が作用する技術的な筮法のプロセスなどにあるのではないということである。むしろ出た卦に対する読みの深さ、暗喩（例えば、大過九三「棟撓めり。凶」）を、問う者の具体的状況にいかに引きつけて適用解釈するかというすぐれた人間的洞察力が要求されているのである。トランプ占いの気安さで易を立てようとする者への、易からの厳しい戒告と理解すべきである。

## ■ 5. 易の思想

# ■ 易経の思想

## 陰と陽との対立・転化

### 陰陽の対立

あらゆる物事は孤立して存在するものではない。  
必ず対になるものがある、それと対立すること  
によって統一した世界を作っている。

# ■ 易経の思想

## 陰と陽との対立・転化

### 陰陽の転化

陰陽は固定的・絶対的なものではなく、常に相互に転化するものである。

- ・ 陰は陽に变じ、陽は陰に变ずる。
- ・ 陰陽は相互に作用することによって新しいものを生み、発展させる。

# ■ 易経の思想

易経は読む者の能動的な思索を俟って  
初めて意味を持つ

易経の言葉は極めて簡潔であり、しかも断片的である。それに意味を付与して無限に広げてゆく作業は読者に委ねられている。易経の言葉は一つのヒントである。人はそのヒントから自由に連想を働かせて、自分の問題を考えねばならない。そうして初めて易経を現代に生かすことができる。

# ■ 易の二面性

斯く成る

呪術的な予見

占筮

斯くなせ

道徳的な無上命法

義理

# ■ 易の二面性



## 王船山の易解釈

漢易の象数と程伝の義理と、どちらも一方だけではいけない。象数と義理は一致すべく、占いと思索は一理であるべきだ。

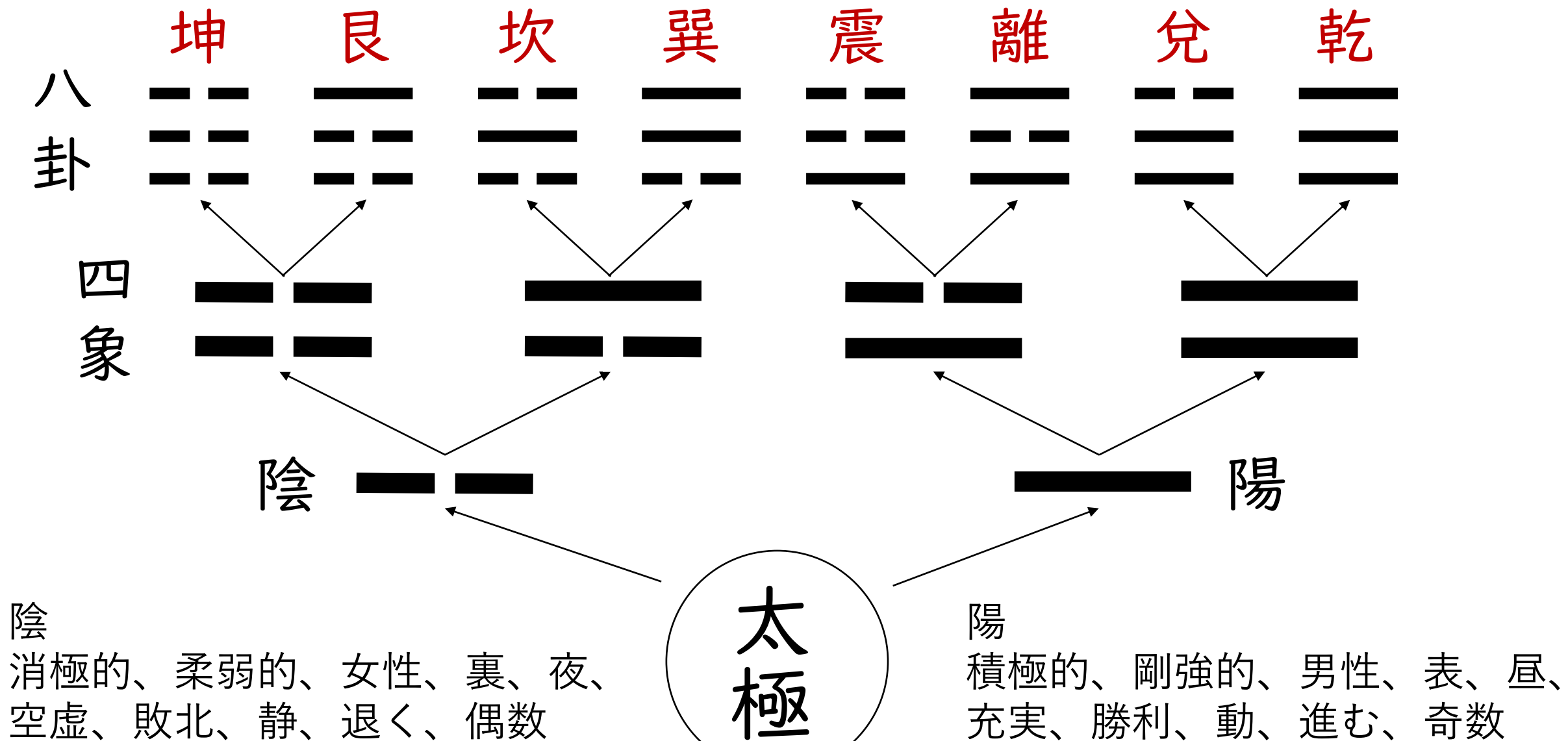
王夫之（船山）

明末清初の儒学者。船山。



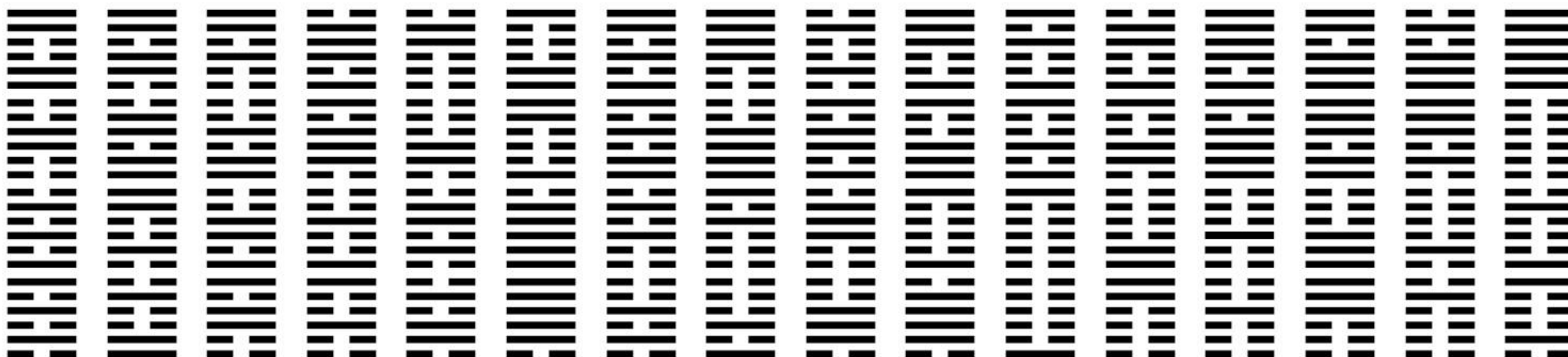
## ■ 6. 易の構成-六十四卦

# ■ 易の構成



# ■ 易の構成

六十四卦



三百八十四爻

八卦

坤

艮

坎

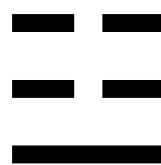
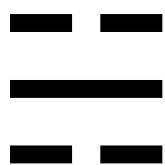
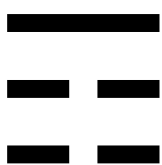
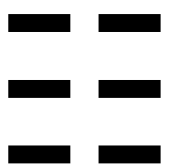
巽

震

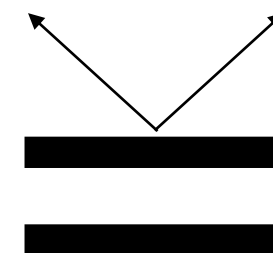
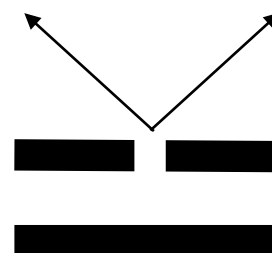
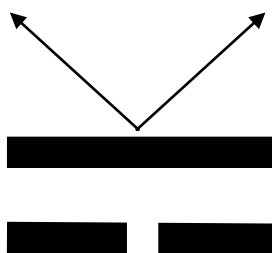
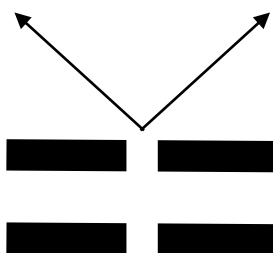
離

兌

乾



四象



八卦	象 (イメージ)		卦徳 (はたらき)	説卦伝 (第7章)
	自然	家族		
1  ☰  乾	天	父	健 すこやか	乾☰は純陽にして剛、動いてやまないから、その性質は健である。
2  ☱  兌	沢	少女	説 よろこぶ	兌☱はもともと陽の下にあるべき一陰が二陽の上に現れて説(よろこ)んでいるから、その性情は説(悦)である。
3  ☲  離	火	中女	麗 かかる	離☲は一陰が二陽の中にあって従順に陽に附いているから、その性情は麗(附着)である。
4  ☳  震	雷	長男	動 うごく	震☳は一陽が二陰の下に生じて進むから、その性情は動である。
5  ☴  巽	風	長女	入 はいる	巽☴は一陰が二陽の下に平伏しているから、その性情は入(平伏)である。
6  ☵  坎	水	中男	陷 おちこむ	坎☵は一陽が二陰の中にあって陰のために溺れるはめになるから、その性情は陷(陷溺)である。
7  ☶  艮	山	少男	止 とどまる	艮☶は一陽が二陰の上に出て往くところがないから、その性情は止である。
8  ☷  坤	地	母	順 したがう	坤☷は純陰にして柔、陽に従うから、その性質は順である。

八卦		卦徳 (はたらき)	説卦伝 (第7章)
1	☰ 乾	健 すこやか	乾☰は純陽にして剛、動いてやまないから、その性質は健である。
2	☱ 兌	説 よろこぶ	兌☱はもともと陽の下にあるべき一陰が二陽の上に現れて説(よろこ)んでいるから、その性情は説(悦)である。
3	☲ 離	麗 かかる	離☲は一陰が二陽の中にあって従順に陽に附いているから、その性情は麗(附着)である。
4	☳ 震	動 うごく	震☳は一陽が二陰の下に生じて進むから、その性情は動である。
5	☴ 巽	入 はいる	巽☴は一陰が二陽の下に平伏しているから、その性情は入(平伏)である。
6	☵ 坎	陷 おちこむ	坎☵は一陽が二陰の中にあって陰のために溺れるはめになるから、その性情は陷(陷溺)である。
7	☶ 艮	止 とどまる	艮☶は一陽が二陰の上に出て往くところがないから、その性情は止である。
8	☷ 坤	順 したがう	坤☷は純陰にして柔、陽に従うから、その性質は順である。

# ■ 八卦のイメージ(象)

雷 ䷏



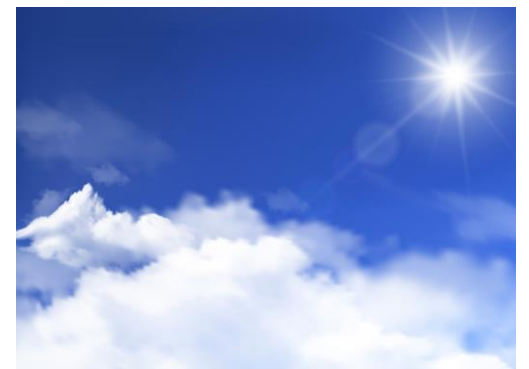
火 ䷔



沢 ䷛



天 ䷒



地 ䷁



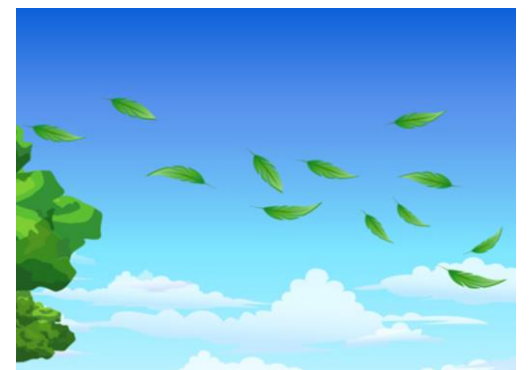
山 ䷓



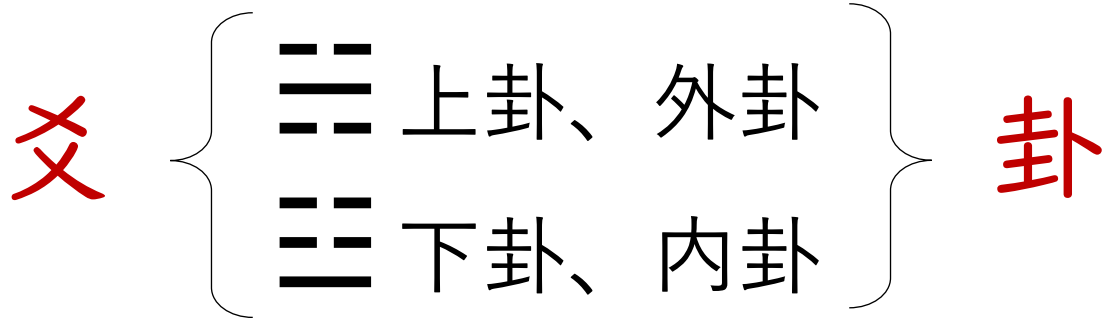
水 ䷜



風 ䷑



# 六十四卦



上象・下象・卦名の順に称する。

例：水雷屯、天沢履

上象と下象が同じ卦（八純卦）は、卦名を上象を下象にし「為」で結ぶ。

例：乾為天、坤為地

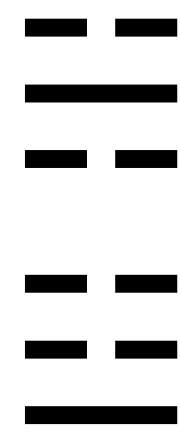
坤 地	艮 山	坎 水	巽 風	震 雷	離 火	兌 澤	乾 天	上卦 下卦
地天泰	山天大畜	水天需	風天小畜	雷天大壯	火天大有	澤天夫	乾為天	乾 天
地澤臨	山澤損	水澤節	風澤中孚	雷澤歸妹	火澤睽	兌為澤	天澤履	兌 澤
地火明夷	山火賁	水火既濟	風火家人	雷火豐	離為火	澤火革	天火同人	離 火
地雷復	山雷頤	水雷屯	風雷益	震為雷	火雷噬嗑	澤雷隨	天雷无妄	震 雷
地風升	山風蠱	水風井	巽為風	雷風恒	火風鼎	澤風大過	天風姤	巽 風
地水師	山水蒙	坎為水	風水渙	雷水解	火水未濟	澤水困	天水訟	坎 水
地山謙	艮為山	水山蹇	風山漸	雷山小過	火山旅	澤山咸	天山遯	艮 山
坤為地	山地剝	水地比	風地觀	雷地豫	火地晉	澤地萃	天地否	坤 地

## ■ 7. 易占の実際-擲銭法



# 六十四卦の選択(得卦)

坤 地	艮 山	坎 水	巽 風	震 雷	離 火	兌 澤	乾 天	上卦 下卦
地天泰	山天大畜	水天需	風天小畜	雷天大壯	火天大有	澤天夫	乾为天	乾 天
地澤臨	山澤損	水澤節	風澤中孚	雷澤歸妹	火澤睽	兌為澤	天澤履	兌 澤
地火明夷	山火賁	水火既濟	風火家人	雷火豐	離為火	澤火革	天火同人	離 火
地雷復	山雷頤	水雷屯	風雷益	震為雷	火雷噬嗑	澤雷隨	天雷无妄	震 雷
地風升	山風蠱	水風井	巽為風	雷風恒	火風鼎	澤風大過	天風姤	巽 風
地水師	山水蒙	坎為水	風水渙	雷水解	火水未濟	澤水困	天水訟	坎 水
地山謙	艮為山	水山蹇	風山漸	雷山小過	火山旅	澤山咸	天山遯	艮 山
坤為地	山地剝	水地比	風地觀	雷地豫	火地晉	澤地萃	天地否	坤 地



## 筮竹

本筮、中筮、元之筮、略筮

## 擲錢法

硬貨 3 枚または 6 枚

# ■六十四卦の選択(得卦)



高島吞象 (高嶋嘉右衛門)

蒙卦

初筮には告ぐ。再三すれば瀆る。  
瀆るれば告げず。

# 擲銭法

六十四卦のうちたのづかう一卦ありてはあつこれと  
 卦木よるい流のふとて一ありてはあつこれと  
 六五二ニ 六四三ニ 三五三ニ 二四三ニ 一四三ニ  
 かくのどくみんが卦木おひ  
 かやふるるむてこの卦とち十四卦別流の世一  
 とあるはとちの山咸とある卦の下ふてうん軌と  
 んんとかのどくみのとちとあるはあつこれと

新井白蛾『易学小筌』



裏  
表  
表  
表  
裏  
裏



沢

山

沢山咸

# ■ 乾為天を読む

元亨利貞

- 亢龍有悔 | 亢龍有悔盈不可久也
- 飛龍在天利見大人 | 飛龍在天大人造也
- 或躍在淵无咎 | 或躍在淵進无咎也
- 君子終日乾乾夕惕若厲无咎 | 終日乾乾反復道也
- 見龍在田利見大人 | 見龍在田德施普也
- 潜龍勿用 | 潜龍勿用陽在下也

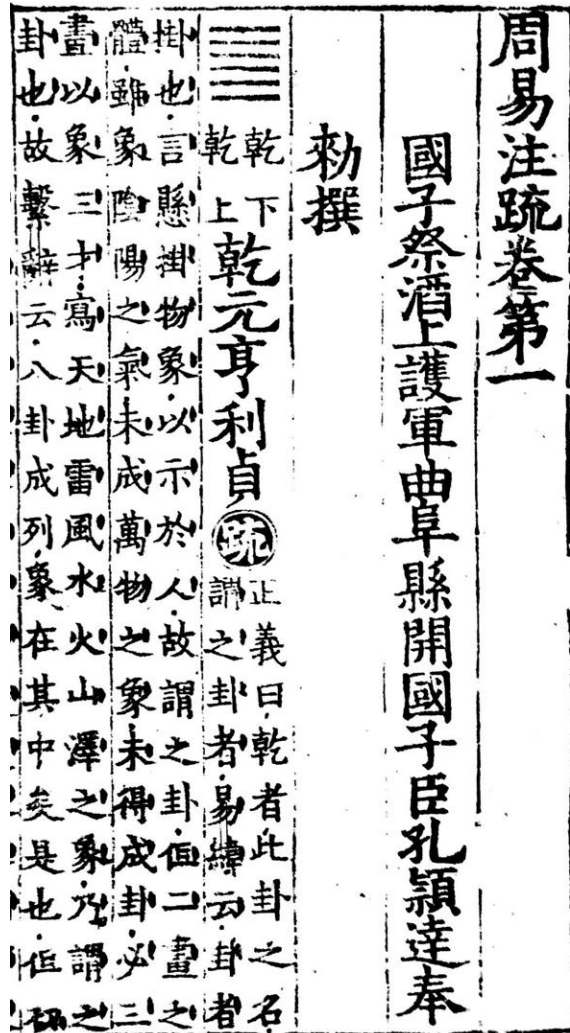
## ■ 8. 易経の構造

# ■ 易經の構造

經 (本文)

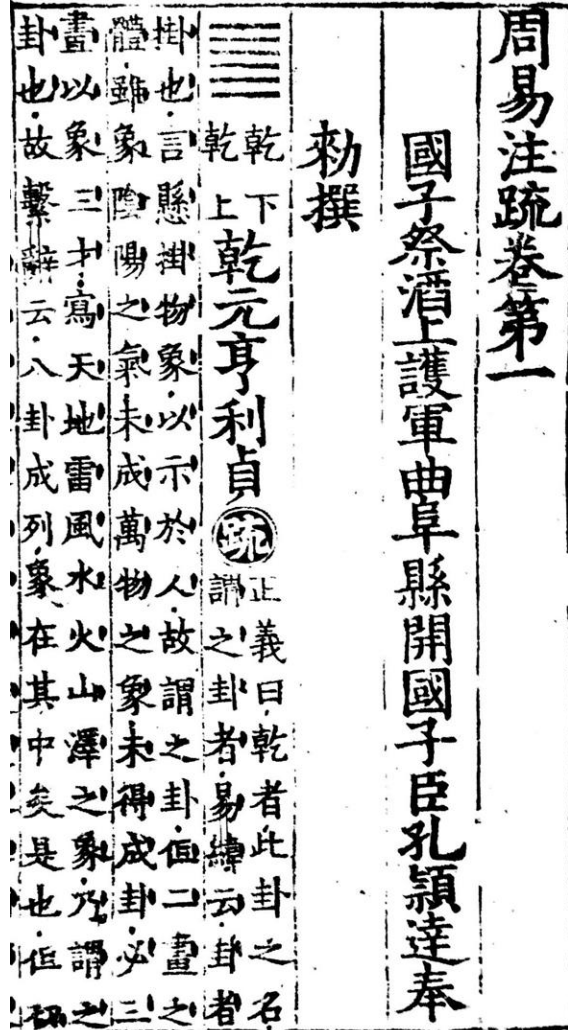
伝 (經の解説：十翼)

易經



足利本『周易注疏』 (国宝)

# ■ 易經の構造



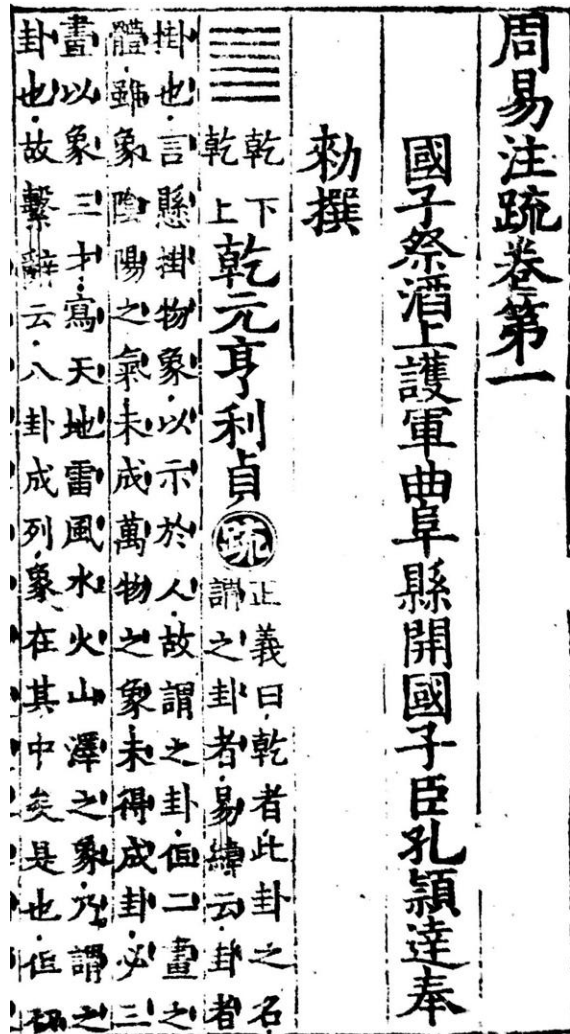
## 易經

## 經（本文）

- 卦形：☰ ☷ ☱ ☲ 等 6 4 卦の象徴的な符号。
- 卦名：乾 坤 屯 蒙 等 6 4 卦の名前。
- 卦辞：一つの卦全体の説明。
- 爻辞：各卦の一本一本の爻につけられた文。

## 伝（經の解説：十翼）

# ■ 易經の構造



## 易經

### 經 (本文)

### 傳 (經の解説：十翼)

- 彖 伝：卦名と卦辞の解説。
- 象 伝：大象と小象
  - { 大象伝：卦全体の解説。
  - { 小象伝：爻辞の解説。
- 文言伝：乾坤の解説。
- 雜卦伝：64卦の要約。
- 序卦伝：64卦の順序。
- 說卦伝：八卦の象徴。
- 繫辭伝：易全体の概論。



# ■ 易経の構造を具体的に見る 蒙

卦名

蒙 坎下艮上

卦辞

蒙は亨る。我より童蒙に求むるにあらず。童蒙より我に求む。初筮には告ぐ。再三すれば瀆る。瀆るれば告げず。貞しきに利ろし。

爻辞



上九 蒙を撃つ。寇をなすに利ろしからず。寇を禦ぐに利ろし。

六五 童蒙、吉なり。

六四 蒙に困しむ、吝なり。

六三 女を取るに用うるなかれ。金夫を見れば、躬を有たず。利しきところなし。

九二 蒙を包ぬ、吉なり。婦を納る、吉なり。子にして家を克む。

初六 蒙を発く。もって人を刑するに利ろし。もって桎梏を説きもって往けば吝なり。

# ■ 易経の構造を具体的に見る 蒙

## 象伝

象に曰く、蒙は山下に険あり。険にして止まるは蒙なり。蒙は亨るとは、亨るべきをもって行ない、時中ればなり。我より童蒙に求むるにあらず、童蒙（来りて）我に求むとは、志応ずるなり。初筮には告ぐとは、剛中をもってなり。再三すれば瀆る、瀆るれば告げずとは、蒙を瀆せばなり。蒙をもって正を養うは、聖の功なり。

# ■ 易経の構造を具体的に見る 蒙

## 大象伝

象に曰く、山下に出泉あるは蒙なり。君子もって行を果たし徳を育う。

## 小象伝

もって人を刑するに利ろしとは、もって法を正すなり。  
子にして家を克むとは、剛柔接わるなり。  
女を取るに用うるなかれとは、行い順ならざればなり。  
蒙に困しむの吝なるは、独り実に遠ければなり。  
童蒙の吉なるは、順にして異なればなり。  
もって寇を禦ぐに利ろしとは、上下順なればなり。

## ■ 9. 得卦の判断の仕方

# ■得卦の判断の仕方

## 卦名

卦の名称から判断する。

卦名は、その卦の性格意味を総合し、単的な表現をしており、第一に考慮する。卦名が占的と違う場合は卦名を捨てて、卦象、卦意を取る。

占  
的

# ■ 得卦の判断の仕方

## 卦象

### 卦体

卦全体の形から判断する。  
消長卦、一陰一陽卦、三陰三陽卦

### 卦徳

内卦、外卦の「はたらき」の組み合わせから判断する。

### 卦象

上卦、下卦の「イメージ」の組み合わせから判断する。

乾 ☰ 天

巽 ☴ 風・木

兌 ☱ 沢

坎 ☵ 水・雲・泉・雨

離 ☲ 火・明・電・雷

艮 ☶ 山

震 ☳ 雷・電

坤 ☷ 地



# ■得卦の判断の仕方 十二消長卦



復

一陽来復



臨

進み迫る



泰

三陰三陽



大壮

陽が壮ん



夬

陰をおし決る



乾

純粹な陽



姤

にわかに一陰



遯

陽が退避



否

三陰三陽



觀

仰ぎ見られる



剥

一陽が剥落



坤

純粹な陰

# ■得卦の判断の仕方 一陽五陰卦 一陰五陽卦



復

一陽来復



師

五陰を統率



謙

小成卦として



豫

小成卦として



比

五陰が輔ける



剥

一陽が剥落



姤

にわかに一陰



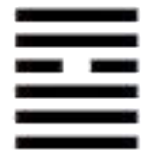
同人

五陽が与す



履

小成卦として



小畜

小成卦として



大有

五陽を統有つ



夬

陰をおし決る



# ■得卦の判断の仕方 蒙の場合



蒙

## 卦名

蒙は蒙昧・幼稚。  
蒙は無知蒙昧な幼児の状態を表す。幼児の無限の可能性を実現するにはよき指導者につかねばならない。

## 卦象

前面に山があるけれども麓の水気に覆われ、暗くて見る事ができない。霧が晴れるまで待つ。

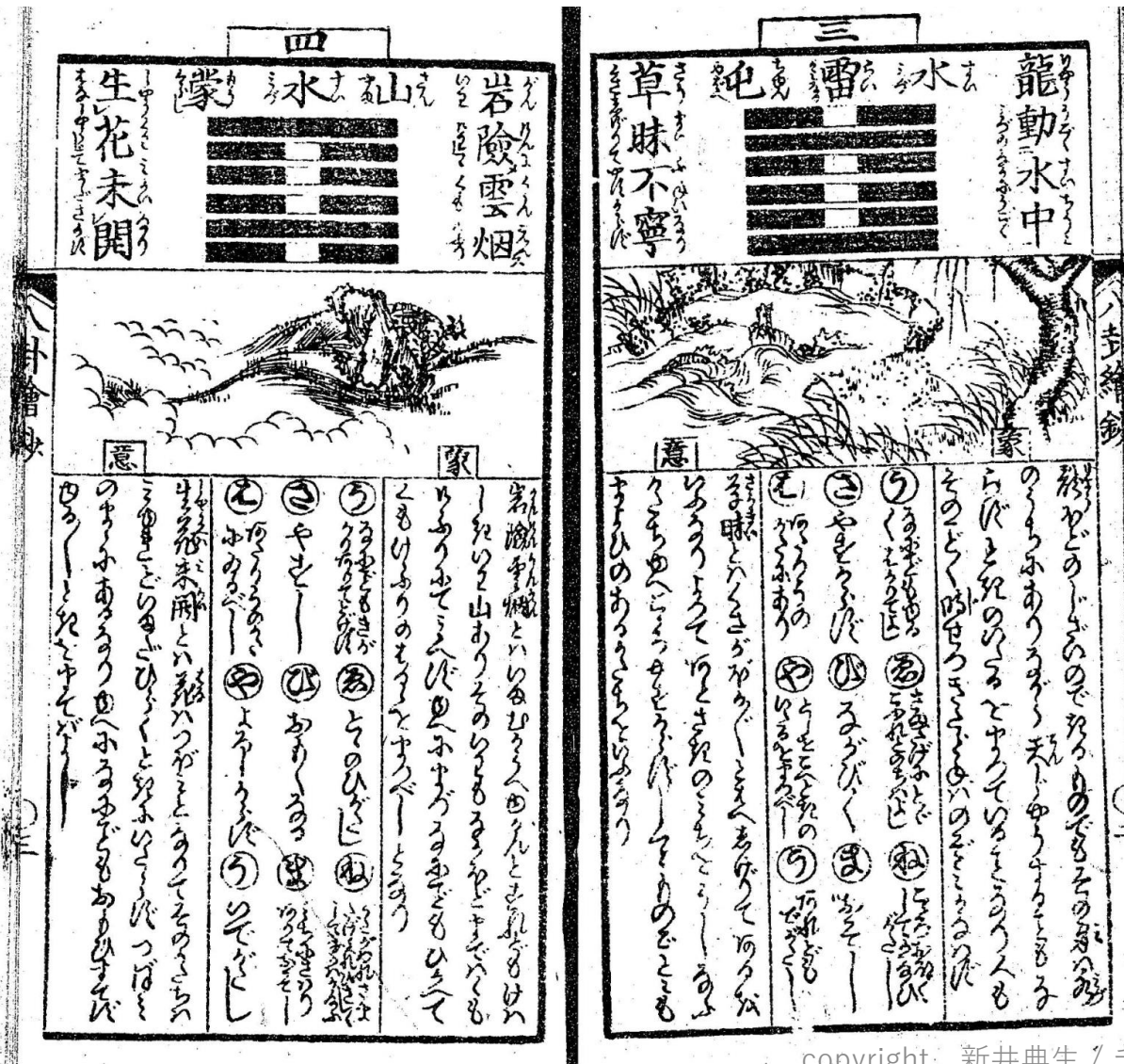
山の麓に湧き出た泉は細く頼りないが、やがては大河となり、遂には大海に至る可能性を秘めている。

# 得卦の判断の仕方 『易学小筌』

新井白蛾 (1715-1792)

江戸時代中期の儒学者。名は祐登。字は謙吉。白蛾、黄洲、古易館と号す。

菅野兼山に師事して、朱子学を学ぶ。易学を究め「古易の中興」を唱える。寛政3年(1791年)に加賀藩主の前田治脩に招かれ、藩校となる明倫堂の創設に関わり、その学頭となり亡くなるまでその地位につく。



## ■ 10. 六十四卦大意表の読み方

# ■六十四卦大意表凡例

上卦をキーにして1ページごとに8卦ずつ掲載した。

大象伝	大象伝の前半部分を抜粋した。
卦意	卦名の意味を記載した。
卦の象意	卦体、卦徳（主に象伝）、卦象（主に大象伝）を勘案して卦の象や卦の意味を解説した。
《白蛾》	占いとして、新井白蛾の易学小筌から、役立ちそうなものを選んで掲載した

## ■ 12. 易占のカウンセリングへの応用 ：葛藤

# ■ 易占のカウンセリングへの応用：葛藤

夢・期待  
葛藤

- ① 事実
- ② 感情
- ③ 計画



## 葛藤の理解

クライアントの動きの取れない状態をそのまま受け止め、わかろうとすること。

## 葛藤とは

揺れ動き、決められない、割り切れない、踏み切れないというような迷う心の状態。

# ■ 易占のカウンセリングへの応用：葛藤

せっかくMBAをとったので海外の企業で自分の力を試したいのです。

しかし、母を一人だけ残していくのは少し心配なのです。母は身体が丈夫ではないのです。



海外へ出る：雷地豫六二



日本に残る：地天泰六五

# ■ 雷地豫を讀む

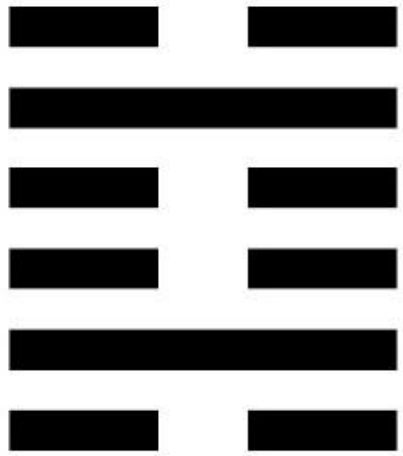
## 豫利建侯行師

- ☰ ☷ 冥豫成有渝无咎 | 冥豫在上何可長也
- ☰ ☷ 貞疾恒不死 | 六五貞疾乘剛也恒不死中未亡也
- ☰ ☷ 由豫大有得勿疑朋盍簪 | 由豫大有得志大行也
- ☰ ☷ 盱豫悔遲有悔 | 盱豫有悔位不当也
- ☰ ☷ 介于石不終日貞吉 | 不終日貞吉以中正也
- ☰ ☷ 鳴豫凶 | 初六鳴豫志窮凶也



# ■ 13. 指針・投げ所に使える 易占自己カウンセリング

# ■ 易占を応用した自己カウンセリング



坎為水九五

習坎。孚有り、維れ心亨る。行きて尚ばるるあり。

九五。坎盈たず。既に平かなるに祇る。咎無し。

坎為水をもって、艱苦を凌いでその志を果たす苦勞のし  
甲斐のある男子本懐の卦だと考えている。この卦を、苦  
難嫌厭の卦とせず、男児の本懐の卦として辛苦経営に任  
ずべき雄々しき卦とすべき。

加藤大岳

# ■ 易占を応用した自己カウンセリング

いつか必ずこう理解する時が来るだろう—自分の抱えている問題は、外部から押し付けられたものではなく自分自身で作り返したものだ、と。誰かのせいで、または環境のせいで自分が苦しんでいるという態度を捨てることが、成熟するための条件のひとつである。

ジョゼフ・ヘラー 『ボディワイズ』 春秋社, 2003

# ■ 実習：易占を応用した自己カウンセリング 指針・拠り所

自身の悩み・迷い

占的と得卦

指針、感想

# ■ 易占を応用した自己カウンセリング 例

自身の悩み・迷い

世間は「易＝占いはいい加減なもの」という誤ったイメージを持っているかもしれない。

占的と得卦

易が役立つことをどのように伝えるか？



風火家人

指針、感想

チーム医療ラーニング一家協力して、火に風、風に火を巻き上げるがごとく易カウンセリングを盛り上げていこう！

## ■ 14. メッセージに変えて — 王船山のことば

## ■メッセージに変えて — 王船山のことは

本来、聖人の憂患から生じたものが易であり、また自分の中に大疑を発し、いかになすべきかという決疑—即ち疑いを決断するのが易なのである。…問うべきことは既に自分がその渦中にあるのであるから、状況は自分の知悉することであり、にもかかわらず神告を求めざるを得ない大疑が己の中にたたえられているから占うのである。かくて、示された神告の意味を自分の事態において了解し、敬虔の心をもって全面的に受け入れることができるのである。